
山の中の婚約者(仮)

蒼穹そら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

山の中の婚約者（仮）

【Nコード】

N7257Y

【作者名】

蒼穹そら

【あらすじ】

ある日突然婚約者がいると告げられたひとみ、言われるがままに向かった先でターザンみたいな男にさらわれて…!!?
恋愛・ドタバタコメディー・果たして無事に婚約者に会えるのか?
2人の行方は?

婚約者がいた！？（前書き）

少女漫画にあるような、日常では絶対に起こり得ない恋愛コメディにしたいです。初連載なので誤字、脱字至らない所多いですが、読んで頂ければと思います。(^ ^)

婚約者がいた!?

初めまして!私、泉ひとみは来年高校を卒業する高校3年生!まだまだ青春真っ只中のぴっぴち(笑)の17歳でございます。

学校ではそこそこモテたりもするけど彼氏は居ません。

何故かって?それは、私には幼い頃からの婚約者がいるから。

といってもそれを知ったのはごく最近の事、夏休みに入る一週間前突然親に呼び出されて…。

母「あゝ!ひとみちゃんこっちいらっしやい」「年の割りに若く、可愛らしい声がりビングから聞こえてくる。うちの母だ。

私「なあにお母さん、あたし明日部活早いからもうお風呂入って眠りたいんだけど…?」

「まあまあ、いい話だからこっち来てお座りなさいな」「フリフリ」の長いネグリジエを着た母は嬉しそうに紅茶が2人分用意されたテーブルに手招きをする。母は近所でも有名な可愛らしい奥様、年齢不詳、小柄でいつもフリフリの服を着ている。ちなみに私はどちらかというとクールな父親似だ。身長も高めだし。これはコンプレックスだけだ。

正直、部屋に戻ってやりたい事もあつたし話す気分でもない私は澁々母に促されるままにソファーに向かい合って腰掛けた。紅茶にミルクを入れながら母の顔をふと見るとニコニコして私を見つめている。

「で、いい話つてなあに?」「いつもの事だし、どうせ対した話でもないんでしょ?隣の猫が赤ちゃん出来たとか。気だるそうに聞いた私に、母は急に真剣な面もちで、

「ひとちゃん、今彼氏とかいるの？」と私の顔を覗き込んでくる。
お母さん、質問に質問返しですよ。とゆーか「え、何でいきなり？」
母の急な質問にびっくりしつつ、「まあ……いませんけど。」と照れ
臭そうに答える。

（そうです。今まで彼氏がいなかったのは婚約者のせいじゃありません！ただ単に、人見知りで奥手だったのでそこそこモテてもクールで近寄り難いイメージからその先に発展しなかっただけでございます。見栄張りしました！すみません……。好きな人はいたけど片思いだったし……。

まあ話を戻しまして。）
下を向いてる私に、「良かった〜！母さんひとみちゃんの事信じてたけどね、でも今の若い子達ってそういうの早いつていうから。とつても心配してたの。」手を取りながら母は続ける、ふわふわの長い髪が相変わらず可愛らしい、私もパーマとかかけたらもう少し柔らかい感じになるかなあ〜。「これで安心してそうた君に会わせられるわあ」「その前に人見知り直さなくちゃなあ……、え？そうた君？」

「あらやーね、そうた君は親戚じゃないわよ」「お茶目な顔で母が笑う。

（???親戚じゃないなら何？知り合いとか？そもそも私、そうた君で知らないし。）
「お母さん、いつもの事だけど、話が見えないんだけど。」母は自覚のない天然で話が見えないのは良くある事だ。私は？マークいっぱい顔で母を見つめる。
すると母は、あらやだ後免なさいと咳払いをひとつしてジーンと私の顔を見た。

「ええっと、驚かないで聞いてね。ひとちゃん、あなたには幼い頃

に将来を誓い合った人がいます。」

ほう、将来を誓い合った…え、将来を誓い合う!? てことは…。

「そなた君はあなたのフィアンセよ。」

母は少女の様ににっこり微笑んだ。

「なにそれー!?!?!」

……

とまあ、こんな感じである日突然婚約者がいた事を明かされた訳ですけども。

母の話によると昔留学先で知り合った友人がいて、同時期に妊娠、出産良く気が合い海外で心ぼそかったのもありその後二年間一緒に生活してたらしい。

みなみに母は大学在学中に父と結婚して私を妊娠したまま留学した。仕事が忙しかった父は日本、母は留学でオーストラリア、しばらく離れて暮らす。その間に私とそなた君とやらは将来を誓い合ったらしい…。

とゆーかどうやって? 2歳っていつてもまだ赤ちゃんじゃん! 物心付くか付かないかみたいな時じゃん?

そして何で今の今まで黙ってた!? 言いたい事は山ほどあったけど、遠くを見ながらうつとりして「だってロマンチックじゃない」幼い頃に愛を誓い合った2人が大きくなつて再開するなんて」と夢見がちに瞳をうるうるさせる母を見て問い詰める事を諦めた。

そうだ、私はこんな母に育てられたんだ! 今までだって母には何度も驚かされた、色々あったけど乗り越えて来たじゃないか! 今は海外で活躍するお父さんはエリートだけに殆ど家に帰ってこない。お母さんは寂しさもあってロマンスに逃げているのね。

むげに断つても良かったけど、私とそなた君の再開を心待ちにしている母の為にも、言われるがまま夏休み最初の日、そのそなた君と

やうがいる山の中の別荘に向かうのです。

.....

.....

婚約者がいた！？（後書き）

設定ぐちゃぐちな所は見逃して下さい汗

なんでもいいので感想貰えたらと思いますゝ（^^）
意見など大歓迎！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7257y/>

山の中の婚約者(仮)

2011年11月21日20時50分発行